

実務経歴書

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先(自営業を含む。)毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。(記入欄が不足する場合は、コピーして使用してください。また、長野県建築士会のホームページからもダウンロードすることができます。)

なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私の建築に関する実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

下記事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

令和 年 月 日

長野県指定登録機関
公益社団法人 長野県建築士会 会長 様

氏名

勤務先等

勤務先 (部課名まで)	在職期間の合計	
	年月～年月	年月数
所在地 (番地まで)	都道府県	S・H・R 年 月～ 年 月
		年 月

建築実務の期間			地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第1条の2)
年月～年月	年月数			
S H R	年 月～	S H R 年 月	年 月	
S H R	年 月～	S H R 年 月	年 月	
S H R	年 月～	S H R 年 月	年 月	
S H R	年 月～	S H R 年 月	年 月	
S H R	年 月～	S H R 年 月	年 月	

建築実務の詳細

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 月

実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)

コード番号
[]

(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 月

実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)

コード番号
[]

(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 ヶ月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)						
コード番号 []						
(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 ヶ月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)						
コード番号 []						
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 ヶ月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)						
コード番号 []						
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 ヶ月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)						
コード番号 []						
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 ヶ月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)						
コード番号 []						
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
			年月～年月	合計月数	建築実務の割合	年月数
			S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	ヶ月	%	年 ヶ月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)						
コード番号 []						
建築実務経験期間の合計年月数					年 ヶ月	

氏名

.....

実務経歴証明書

令和 年 月 日

長野県指定登録機関
公益社団法人 長野県建築士会 会長 様

会 社 名
 建築士事務所 知事登録
 事務所登録番号 第 号
 役 職 名
 証 明 者 氏 名
 建築士登録番号 建築士 登録第 号
 住 所 ・ 所 在 地
 電 話 番 号
 免 許 申 請 者
 と の 関 係

下記の者が申請した 二級建築士
木造建築士 免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを
 証明します。

記

1 免許申請者氏名

2 建築実務経験

建築実務経験期間の合計 : 年 ヶ月
 建築実務の内容 :

- (注) 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成してください。
 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明してください。
 3 建築士事務所の開設者・管理建築士等が証明する場合、建築士事務所登録番号を記載してください。
 4 建築士が証明する場合、建築士登録番号を記載してください。
 5 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。